

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和5年度～令和7年度）
研究開発課題名	間葉系胃がんに対する精密医療開発
代表機関名	医薬基盤・健康・栄養研究所
研究開発代表者名	足立 淳

総合評価：優れている

【評価コメント】

本研究は、臨床検体オンデマンドプロテオーム・リン酸化プロテオーム解析により、薬剤の生体内における作用を高感度かつ定量的に評価できる基盤技術を確立した点が評価できる。特に、標準治療終了後の胃がん患者検体のプロテオーム解析からサブタイプ間の分子学的差異を明らかにするとともに、化学療法と免疫チェックポイント阻害薬の併用療法によって、胃がんの薬剤反応が大きく変化することを見だし、新たな治療戦略の提案に至った点は意義がある。また、患者層別化に基づき、間葉系胃がん患者を対象としたAXL阻害剤の有効性が期待されることを示し、社会実装の実現可能性を高めた点も評価できる。さらに、関連する知的財産の出願もなされており、今後はこれらの成果を活用した研究開発や実用化への展開を期待する。

今後は、AXL阻害剤やパクリタキセル併用療法の適用が期待される患者集団をどのように選別するかについて、さらなる検討を期待する。また、研究開発項目1については解析症例数が限られていることから、結果解釈の妥当性向上に向け、症例数を拡充し、さらなる解析が進むことを望む。

以上